

7 バドミントン競技

1 日 時 7月14日(日) 団体戦・個人戦

8:00 開館

8:05 練習開始(10分交替で練習)

8:10 監督会議

8:40 開始式(放送にて、選手は観覧席で聞く)

9:00 競技開始(団体戦決勝・個人戦)

7月15日(月) 8:00 開館

9:00 競技開始(個人戦決勝まで)

2 場 所 スポカルイン黒石

3 競技規則 【全般的】

(1)大会要項及び、令和6年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程に準じて実施する。

(2)令和6年度(公財)日本バドミントン協会第1種もしくは第2種検定に合格した水鳥シャトルを使用する。

(3)抗議は認めない。不審な点は、該当プレーヤーか監督が礼儀正しく質問する。

【団体戦】

(1)団体戦の男女各チームは2ダブルス、1シングルスで構成し、選手5～7名と監督(教職員・部活動指導員、地区中体連に申請済みのクラブチームの指導者)1名、マネージャー(教職員・生徒)もしくはコーチ(校長が認めた者、地区中体連に申請済みのクラブチームの指導者)1名とする。

地域クラブについては責任ある代表者または指導者とする。

(2)団体戦の勝敗は2点先取制とする。団体戦の1回戦にかぎり、勝敗がついても第2ダブルスの1セット目までは行う。

(3)試合の進行状況により、コートを2面、3面にわたって試合を進めることがある。

(4)オーダーは試合20分前(または指示のあった時刻まで)に記録係に提出する。

(5)試合の順序は第1ダブルス、シングルス、第2ダブルスの順とする。

(6)練習はマッチごとに2分ずつ行う。

【個人戦】

(1)個人戦でベンチ入りできるのは、監督(教職員、部活動指導員、地区中体連に申請済みのクラブチームの指導者)、マネージャー(教職員・生徒)もしくはコーチ(校長が認めた者、地区中体連に申請済みのクラブチームの指導者)1名、アドバイザー(教職員、部活動指導員、校長が認めた者、地区中体連に申請済みのクラブチームの指導者)1名、のうち2名までとする。

(2)練習は同時に3分とする。

【審判上の注意】

(1)抗議は認めない。不審な点は、該当プレーヤーか監督が礼儀正しく質問する。

(2)次の行為は厳に慎む。

①必要以上の汗ふきや靴のひもの結び直し。

②極端に遅いレシーバーの構え、サーバーの長い静止。

③相手を威圧するような行為・発声・声援。

- 4 競技方法 (1)団体戦、個人戦ともトーナメント戦方式で行い、第3代表決定戦を行う。
(2)団体戦は2複1単で行う。
- 5 表彰 (1)団体戦は3位までに団体賞状及び個人賞状を与える。
(2)個人戦は5位（ベスト8）までに個人賞状を与える。
- 6 参加資格及び制限 **【団体戦】**
(1)東青、中南、西北、三八地区は各地区中体連夏季大会を通過した代表3チーム以内とする。上北地区、下北地区は代表2チーム以内とする。但し、県春季大会でベスト4に3つ以上入賞した地区に、別枠として代表を1チーム与える。
(2)同一選手が単と複を兼ねて出場できない。
【個人戦】
(1)東青、中南、西北、三八地区は各地区中体連夏季大会を通過した代表シングルス8以内、ダブルス8以内とする。
上北地区、下北地区は代表シングルス4以内、ダブルス4以内とする。
但し、県春季大会シングルス・ダブルスのそれぞれ1～4位の地区に、別枠として代表を1枠ずつ与える。
(2)個人戦は単複を兼ねて出場することはできない。
- 7 組み合わせ 参加数によりトーナメントを作成する。
- 8 抽選方法 (1)県中学校春季バドミントン選手権大会の各種目ベスト4の地区をシードする。
(2)団体戦では、地区順位を優先して抽選し同地区が一回戦であたらないようにする。
- 9 東北大会出場について (1)男女とも団体戦・個人戦の第3代表までを東北大会に推薦する。
(2)荒天・災害のため会期中に競技を消化できない場合、県春季大会の結果を参考として、最終決定は県中体連会長が行う。
- 10 その他 (1)検定ウェアを着用すること。上衣の背面中央部に、学校名及び姓を入れて、同姓の選手がいる場合は名前の一文字目を小さく入れる。マークの大きさは、縦 15 cm、横 30 cm。文字は鮮明な日本字で入れること。

弘 前 東 中 太 田 理

(2)選手変更等について

<団体戦>

- ・団体戦で申し込み後に選手を変更する場合は、所定の用紙により、当該チームの校長・クラブチームの代表者により、県専門委員長を通して大会本部に届け出る。監督会議後の変更は認めない。

<個人戦>

- ①ダブルスに出場予定の選手のうちの一人が病気等の事情により大会に出場できない場合は、所定の用紙により当該チームの校長・クラブチームの代表者により県専門委員長を通して、大会本部に届け出、1日目の監督会議で確認する。その場合は当該チームから個人戦に登録されていない選手を補充できる。
ダブルスの組二人とも出場不可能な場合は、当該チームの校長・クラブチームの代表者より大会本部に出場辞退届を提出し、県専門委員長に報告し、監督会議で確認する。
- ②シングルスに出場予定の選手が大会に出場できない場合は、当該チームの校長・クラブチームの代表者より大会本部に出場辞退届を提出し、県専門委員長に報告し、監督会議で確認する。